ありがとう 80 FUKUNISHI 80th Anniversary
Fukunishi 福西電機株式会社
本社　大阪市北区与力町７番５号
コーポレートサイト https://www.fukunishi.com/

第467号
2026年（令和８年）
11月11日（水曜日発行）
年間購読料：無料
URL: http://www.automation-news.jp/

# オートメーション新聞

-ものづくりを応援する専門紙- Automation News
発行所：©ものづくり.jp株式会社 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-101-1 クロスゲート7階　TEL：050-3503-9311

PHOENIX CONTACT
Empowering the All Electric Society

JC―STARとEUサイバーレジリエンス法を制度比較

## 日本とEU、サイバーセキュリティで連携

### 対策強化と業務効率化へ

世界的にサイバー攻撃の激化と被害拡大が深刻化する中、日本とEUがサイバーセキュリティ強化で連携する。日本が進めているIoT製品セキュリティ適合性評価・ラベリング制度「JC―STAR」と、EUが推進しているEUサイバーレジリエンス法（CRA）の技術的比較に向け、在欧日系ビジネス協議会（JBCE）と欧州のStandICT. eu事務局が協力覚書を締結した。

JC―STAR（セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度）は、インターネットとの通信が行える幅広いIoT製品を対象として、共通的な物差しで製品に具備されているセキュリティ機能を評価・可視化することを目的とした日本の制度。

求められるセキュリティ水準に応じて、IoT製品共通の最低限の脅威に対応するための適合基準である★1（レベル1）と、IoT製品類型ごとの特徴に応じた適合基準である★2（レベル2）、さらに高度な★3（レベル3）、★4（レベル4）を定めている。

一方のEUサイバーレジリエンス法（CRA）は、EU内で製造、輸入、流通されるハードウエアとソフトウエア製品に適用され、ライフサイクル全体に対してEUのサイバーセキュリティに関する必須要件、製品設計・開発段階からのセキュリティ要件への適合や脆弱性管理などを義務付ける法的枠組み。適合する製品にはサイバーセキュリティ要件への適合を示すCEマークを製品に付与し、不適合の場合、罰金の賦課や市場からの撤去命令、流通制限を課される可能性があるとされる。

JC―STARとCRAはそれぞれの地域に対する制度で、基準や対象が異なるのに対し、両地域で製造・流通する製品やサービスはその枠組みを超えてお互いの地域でも製造・販売・採用される。

このことから、お互いの制度の共通点と違いを明確にし、関連する企業が国内外のセキュリティ規制に正しく効率的に対応できる環境づくりが必要とされていた。

そこで今回、在欧日系ビジネス協議会（JBCE）と欧州のStandICT. eu事務局が協力覚書を締結し、技術ワーキンググループにおける連携を強化。経済産業省とIPAも協力し、日欧のサイバーセキュリティ専門家とともに、両制度の具体的なセキュリティ要件や運用の比較・分析を進めていく。




GEA 日本での最新状況報告

## 日本委員会の活動紹介

### トヨタのIPC規格活用事例も

電子基板や実装などエレクトロニクス産業における、品質の国際標準であるIPCを管理・推進する国際標準団体・GEA（グローバルエレクトロニクスアソシエーション、旧IPC）は、日本における標準化活動の最新状況を報告し、日本でも車載を中心とした委員会が立ち上がり、日本で動車の社内技術標準へのIPC規格の採用等のトピックスを紹介した。

GEAは、もとは1957年に米国のプリント基板標準化団体IPCと団体であるIECとも連携しており、GEAが採用したものをIECに提案し、それがIEC規格に反映されることも多く、GEAがエレクトロニクス業界の方向性を決める上でのキープレイヤー的存在にもなっている。

日本市場では長年、企業ごとにIPC規格を採用する形での関係が多かったが、2022年にはトヨタ自動車や東海理化などを中心にIPC日本委員会タスクグループが立ち上がり、車載向け電子組み立て品に対する日本の自動車産業からの意見や要求を取りまとめ、世界に発信する活動をスタート。直近では、ワイヤハーネスと接続するコネクタの固定部のはんだ外観基準や、セラミックコンデンサの品質不良の定義に関する認識の差異を指摘し、修正を提案したりした。

また、説明会ではトヨタ自動車の担当者も登壇し、社内技術標準へのIPC規格の採用や、国内タスクグループを通じた標準化活動の中身と参加メリットなどを紹介した。

FA・製造現場向け民間資格

## 「センサ実務検定」開始

### 27年2月「入門編」3月「実務級」

センサ実務検定協会は、製造現場でセンサを正しく選び、使い、トラブルに対応する実務力を評価する民間検定「センサ実務検定」を創設し、2027年2月に第1回試験を実施する。FAやDXを推進し、実装する人に向けて、データの起点となるセンサの知識や技能を体系的に学び、客観的に評価する共通基準の提供を目指す。

FA・自動化市場が活発になるともない、製造現場へのFAセンサの設置台数は年々増加し、その適用範囲も広がっている。センサは現場からデータ・情報を収集する重要な技術であり、自動化はセンサ抜きには語れない。その意味でも、センサとその使いこなし技術が、今後のAI時代のFAには不可欠となる。

試験では、特定のメーカーに偏らない中立な出題が特徴で、光電や近接、レーザ変位計から圧力、温度センサまで幅広く網羅。知識だけでなく、現場で起きた症状から原因を見立てる実践的な判断力も問う。

受験資格は不要で、入門級と実務級の2区分を設け、すべてオンラインで実施する。日本語に加え英語、繁体字、ポルトガル語の4言語に対応し、世界共通の基準で受験できる体制を整備している。新入社員研修やスキルテストなど団体受験にも対応し、第1回試験として入門級を2027年2月14日、実務級を3月20日に実施する。

セイコーエプソン

## 初の人協働ロボット

### ラボや医薬品など自動化



セイコーエプソンは、同社として初めてとなる人協働ロボット「AX6―A901S」と小型コントローラ「RC―A101」を発売した。AX6―A901Sは、最大可搬質量6kg、アーム長900㎜で、凹凸の少ない滑らかな外観により清掃性に優れる。汎用言語「Python」に加え、画面上のブロックを組み合わせて直感的にプログラムを作成し操作できる「ブロックプログラミング」に対応し、ロボットの専門知識がなくても容易に導入・運用できる。

小型コントローラ「RC―A101」は、無人搬送車（AGV）や自律走行搬送ロボット（AMR）への搭載に対応する。搬送と作業を組み合わせた自動化システムの構築を支援し、人と協働する、柔軟な生産ラインの実現に貢献する。

令和の販売員心得
黒川 想介
169

## ネット検索では得られない「メモ」活用し情報力を向上

少し前に「Z世代」と言う言葉がよく使われていた。1990年代後半から2010年頃に生まれた世代を指している。幼少時からインターネットやSNSが周囲にあって、学校でもデジタルツールを使う時代に育ってきた。あらゆる情報の収集や、他人とのコミュニケーションをデジタルツールで行うことが当たり前の世代である。

Z世代に限らず、デジタルツールがなければ不便な生活を強いられるが、現在はデジタル社会への移行期である。現在のZ世代が高齢者になる頃には、これがデジタル社会だと言う世の中になっているだろう。

1990年代後半の1995年と言えば、GDPが500兆円に達し、それ以降は二十数年デフレ傾向が続いている。この時期にFA営業に新入社員として入ってきた世代は、いまは50代そこそこになり、中堅営業や管理者として活躍中である。彼らの入社当時はパソコンソフトが充実し、メールが盛んになりはじめた頃で、社会に出てデジタルの波に乗り出した年代である。

それ以降にFA営業に入ってきた販売員は、よりZ世代に近く、営業活動にはパソコンやスマホは必須。パソコン・スマホは営業効率の面では欠かせないツールではあるが、日々の営業活動にデジタルツールが占める割合が増えていくのは、使い方にもよるが、営業力向上へプラスに寄与することは少ない。

営業の醍醐味は「潜在している需要を見つけ出し商談に持ち込み決着すること」である。顧客が必要なものをそれなりの営業力で受注し、売り上げるよりもずっとワクワクする。この営業の醍醐味を味わうには、情報収集力とコミュニケーション力がないと難しい。パソコン・スマホで会話のやりとりを日常化していると、対面で人に向かって会話をするのが下手になる。文字で会話をしているから、相手と会話するためだけの一時しのぎにすぎないのだ。

営業活動で最も重要な情報収集は、販売員が興味や疑問を持って問いかけ、コミュニケーションのやりとりをしながら潜在化している情報を明るみに出す活動である。これは情報の検索とはまるで違う情報収集であるから、ネット検索ばかりが身に付くと情報収集力は育たない。情報収集力を育て身に着けるには、やはり日々の顧客訪問活動で情報の基本動作を繰り返し身に付けていくのがベストなのだ。

これまでに基本動作「①観察」「②興味」「関心」「③疑問」「④傾聴」に関して例を挙げて述べてきた。それに続く⑤として「メモ」の重要性を挙げる。メモは大事なことや興味あることを忘れないように記帳することである。書くことによって覚えるという利点もあるが、メモを取ることが情報収集力を育てると言うのは、「顧客との対話中に気づかなかったことを返ってから読み返してみて気づくことがある」からである。次回会ったときにその先を探る情報に使うことができるのだ。それともうひとつ、「メモ帳を読み返して見ているとメモとメモがつながって、一種の化学反応起こし、新たな気づきの情報になることがある」からだ。パソコン検索に慣れている販売員は、パソコン上に必死でメモをしても検索の必要がなければ二度と見ないだろう。これではメモの情報価値の使い方がうまくならない。メモは適宜読み返すことが情報力を上げることになるのだ。

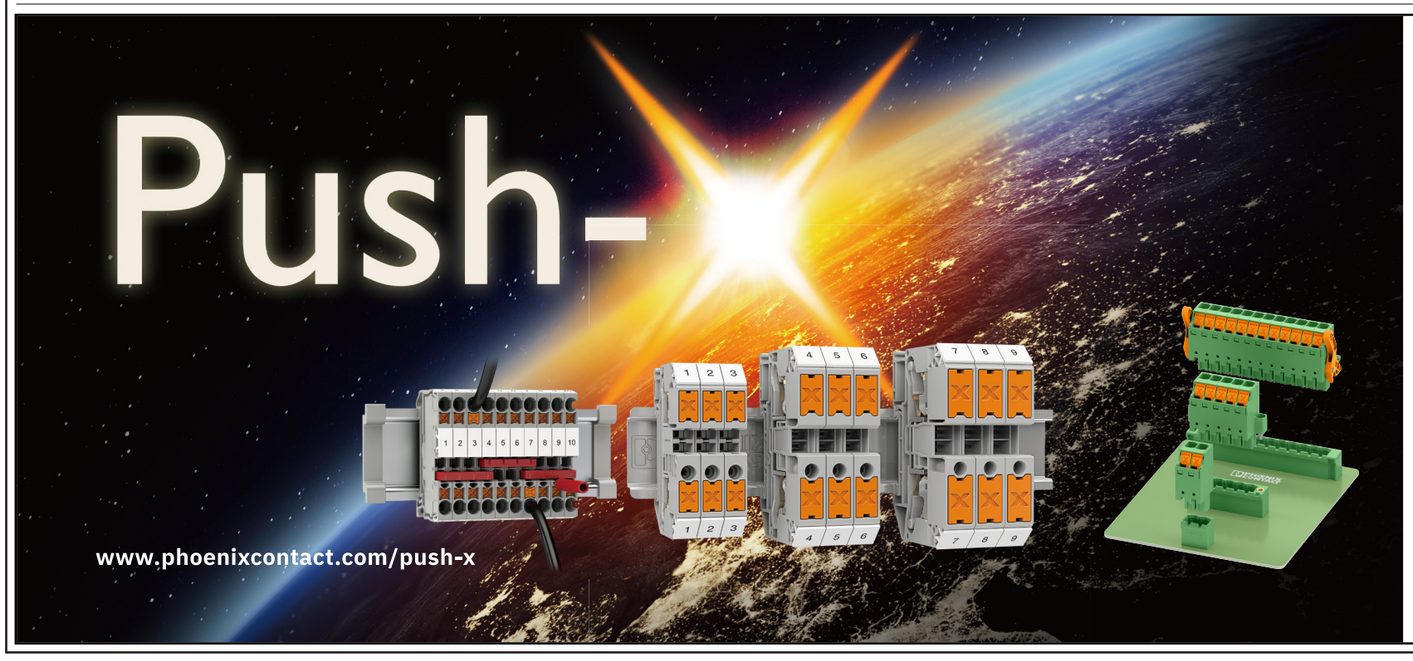
灯台

### 製造業の人手不足問題　地方で頑張る社員にもっと敬意とサポートを

人手不足が課題とされる製造業。学生の就職希望先としての人気も低迷し、なかなか有効な解決策が見当たらない。そんななか、先日X で、地方工場に転勤になって絶望している、東京出身の若者の嘆きが話題となり、議論が白熱していた。その中身はこうだ▼入社して数年で地方転勤となったが、東京以外では生活したことがなく、田舎になじめず、そのギャップによって半年で我慢の限界が来た。東京では、財布とスマホだけ持って家を出れば、まわりには飲食店やコンビニがある。ちょっと足を伸ばせば繁華街へもすぐだ。電車やバスの時間を気にせず生活でき、何かあればタクシーで家に帰れる。それに対し田舎にはまわりに何もなく、外出には目的が必要で、そのための気合もいる。東京では理由もなしに外出でき、何も考える必要がなかったのに。また、自分はインドアだから一人でゲームなどをして楽しめるし、買い物だってAmazonで何でも買えるし、生活の質は変わらないだろうと思っていた。しかし実際は、東京は人の存在を感じながら生活するのが当たり前だったが、田舎では人がおらず、まわりに人の存在がない状態での日常が当たり前。これにより強い孤独を感じるようになった。休暇で東京に戻って数日生活を送った際、これらのギャップをより強く感じたという▼かくいう私も、若い頃、地方の見知らぬ土地に転勤したことがある。趣味に走り、その地域を楽しもうと努力したが、結局ダメだった。「自分が本当に腰を落ち着けたい場所は別にあり、いまは一時的にいるだけ。いつか戻る」という意識が抜けず、現実との乖離に心が限界を迎え、結局転職した。よく地方への転勤の苦労は、現地に娯楽がなく、職場以外で孤独になりやすいなんてことが表面的に語られるが、実はもっと根深い。人によっては他人が思う以上に心を削られ、傷つき、逃げ場がなく、追い込まれるものだ。地方に工場を構える製造業にとって、地方配属は切っても切り離せない問題であり、簡単に解決はできない。しかし少なくとも地方勤務を選んでくれた、そこで頑張ってくれている社員に確かな敬意とサポートを示す必要は絶対にある。

azbil
Engineering the Impossible
人と社会の可能性を、技術で解き放つ。
アズビル株式会社

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社 カナデン



THE NEW WIRING EXPERIENCE
新しい接続体験を
端子台はPush-inからPush-Xへ進化を続けます
● 配線工数50%以上ダウン
● 現場の手間を大幅に削減
● 工具要らずで簡単・安全
● 自動配線にも最適
フエニックス・コンタクト株式会社
本　社 〒222-0033　横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜一丁目ビル 6階
PHOENIX CONTACT

# Machine Evolution Partner

## Speedy. Simple. Suitable for All.

パナソニック インダストリーは「Machine Evolution Partner」というスローガンのもと、お客様と共に革新的な装置開発を進めるパートナーとして“Speedy、Simple、Suitable”を核としたソリューションをご提供することでお客様の課題解決に取り組んでまいります。

### Speedy

装置パフォーマンスを向上する
高速・高精度な制御を提供



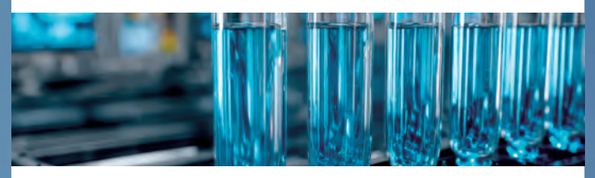

サーボモータ


モーションコントローラ

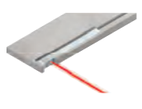

変位センサ

### Simple

装置トータルコストを削減する
小型・簡単なデバイスを提供




光電センサ


ファイバセンサ


レーザ測距センサ

### Suitable

装置リードタイムを短縮する
最適なシステムを提供




安全機器


イオナイザ


PLC

## Pick Up Products

設計も施工・保守も。
限定反射という選択を
もっとシンプルに。




NEW

アンプ内蔵
**限定反射型光電センサ**
**EX-M160 SERIES**

**キレのある限定性能**
性能とコストパフォーマンスを両立。
小型光電センサの新たな選択肢

**設計工数を削減**
5～24V DC対応　5V対応、3つのヘッド形状、
NPN/PNP出力をラインアップ

**施工性を向上**
はんだレスコネクタで信頼性と施工性を向上

**故障リスクを軽減**
全機種に3つの保護回路を標準搭載

Panasonic INDUSTRY

パナソニック インダストリー株式会社
産業デバイス事業部
〒574-0044 大阪府大東市諸福7丁目1番1号

●技術に関するお問い合わせは
FAデバイス技術相談窓口
0120-394-205
※受付時間／9：00～17：00（12：00～13：00、弊社休業日を除く）
Webサイト industry.panasonic.com













富士電機
富士電機機器制御株式会社

## 新製品・サービス

### オムロン　設計支援ソフト「CX－One Agent」

# 生成AIで設計・保全業務効率化

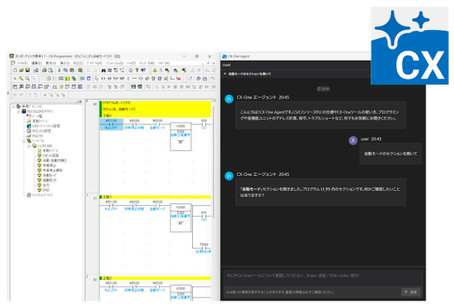
## 既存設備のプログラム資産活用

オムロンは、生成AIを活用して製造現場の制御機器における設計や保全業務を支援するソフトウエア「CX－One Agent」を発売した＝写真。

同製品は、プログラムソフト「CX－One」と連携し、PLCに関するマニュアルや技術情報、既存のプログラム資産を活用してプログラムの検索や要約、可視化、設定方法の確認を容易にする。熟練技術者に依存してきた業務工数を50％以上削減することを目指し、技術者の早期戦力化を支援する。

自然言語による意味検索や文字一致検索に対応し、プログラム流用候補の特定を従来の2週間から4日に短縮する。指定したプログラムをセクション単位で要約し、処理の流れを可視化することで改造箇所の特定期間を2カ月から4日へと大幅に短縮した。また、130以上のマニュアルやFAQなどのナレッジベースから、必要な操作手順を即座に提示する。

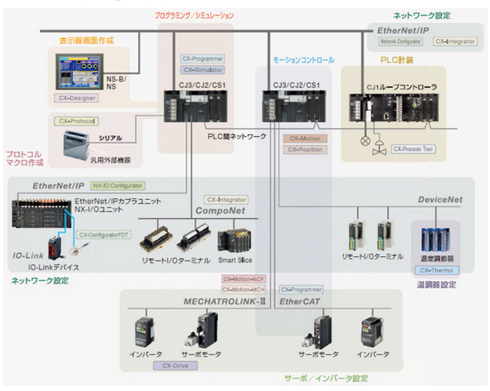
併せて、PLC「CJ2M」の後継機種「CJ3M」と、プログラマブルターミナル「NS」の後継機種「NS－B」を発売した。既存設備のプログラムや画面資産を継承し、最新設備への更新を支援する。




### オムロン　FA統合ツールパッケージ「CX－One」最新バージョン

## PLCプログラミング工数削減

オムロンは、オムロン製PLC、コンポーネントの周辺ツールを統合的に提供する統合ツールパッケージ「CX－One」について、新バージョンとなる「CX－One Ver.4」を発売した＝写真。




同製品は、PLCシステムのプログラム作成や設定作業を効率化するPLCプログラミングツール「CX－Programmer」を中心に、表示器やサーボ、インバータ、温調などの各設定ツールを統合したFA統合ツールパッケージ。

命令語をそのまま入力できるニーモニック入力方式のほか、次に入力する接点・コイル・オペランドのアドレス候補を自動でインクリメントする機能や、コイル・応用命令入力時に自動的に接続線を補完する機能などのスマートインプット機能をサポートし、ラダープログラムの入力工数を50％削減。ST（ストラクチャードテキスト）言語による高度な数値演算や文字列処理にも対応している。

さらに、ファンクションブロックや構造体に対応してプログラムの流用設計を容易にするほか、EtherNet／IPのタグデータリンク設定の自動化、NX－I／OユニットとIO－Linkデバイスの設定機能を統合。複数台のPLCの一括モニタやシミュレーション機能も強化し、設備の立ち上げやデバッグ工数の削減に貢献する。

### コンテック　3Uラックマウント型産業用コンピュータ「VPC－4100シリーズ」

## 高信頼エッジPC向け

コンテックは、製造業や社会インフラ分野における高信頼エッジコンピューティング向けに、19in 3Uラックマウント型産業用コンピュータ「VPC－4100シリーズ」を発売した＝写真。



同製品は、第12世代インテルCeleronや第13世代インテルCoreプロセッサに対応する高い処理性能を備える。PCI ExpressとPCIによる最大4スロットの拡張性を持ち、GPUや各種I／Oボードの柔軟な組み込みが可能で、AI外観検査や画像処理などの高負荷用途に適する。

550Wリダンダント電源を標準搭載し、電源ユニットはホットスワップに対応するためシステムを停止せずに交換可能。

筐体はフロントアクセスタイプとスタンダードタイプをそろえ、フロントアクセスタイプはインターフェースやストレージに前面からアクセスでき、ラックに取り付けたまま保守作業が行える。

ストレージはハードウエアRAID1に対応し、ホットスワップによる交換が可能。通信や接続性では2.5GBASE－TやUSB、シリアルポートを備え、最大3画面出力に対応する。

### 日東工業　アース端子台「QET－5W」「QET－M6」

## 分岐回路の結線を省施工化

日東工業は、分電盤の分岐回路におけるアース結線を速結端子化したアース端子台「QET－5W」と「QET－M6」を発売した＝写真。



同製品は、電線を差し込むだけで結線が完了する速結端子を採用し、従来の「のの字曲げ」や「ねじ締め」作業を不要とした。

分岐回路8回路の分電盤において、アース線の結線時間を約70％削減可能。速結端子には2点ばねを採用し、接続状態を目視確認できる接続完了表示機能により接続不良を防止する。

業界初となるユニット連結構造を採用し、配線することなく分岐ブレーカの回路数や長さに応じて自在に端子数を変更できる。独立した2系統のアース用導電部を内蔵しており、各ユニットを組み合わせることでアース用銅バーをそのまま置き換えて使用できる。

部品点数の削減により組み立て工数を抑制するほか、従来の2段アース用銅バーと比較して製品体積を約75％小型化、製品質量を約62％軽量化、$CO_2$排出量を約76％削減した。

価格はQET－5Wが2150円、QET－M6が1800円、QET－5Wの20個入りの省梱包仕様が3万2500円。

### アイエイアイ　小型3爪グリッパ「RCP6－GRTR6」「EC－GRTR6」

## エア機器からの置き換えに最適

アイエイアイ（IAI）は、電動アクチュエータ「ロボシリンダー」と「エレシリンダー」のラインアップに、手のひらサイズの小型3爪グリッパ「RCP6－GRTR6」「EC－GRTR6」を追加した＝写真。



同製品は、小型軽量設計により装置先端やロボットハンド部への搭載性を高めた小型3爪グリッパ。電動駆動により動作速度や把持力の微調整が可能で、把持力は％単位で数値設定できるため、変形しやすいワークも柔軟に把持できる。

多点位置決めが可能なロボシリンダータイプ「RCP6－GRTR6」と、コントローラを内蔵し2点位置決めに特化したエレシリンダータイプ「EC－GRTR6」をそろえ、エア機器からの置き換えに最適。

カメラ用レンズなどの光学部品検査装置、各種ワークの芯出し工程など幅広い自動化用途に適している。

### CKD　ダイレクトドライブモータ「AX6R」

## 業界最小クラス

CKDは、業界最小クラスのダイレクトドライブモータ「ABSODEX」の小型タイプ「AX6R」を発売した＝写真。同製品は、直径80㎜のアクチュエータサイズでありながら、アウターロータ方式の採用により高い許容負荷慣性モーメントと大きなアキシアル荷重を実現。大きな負荷を直接駆動でき、設備の小型化や高精度化、高速化に貢献する。



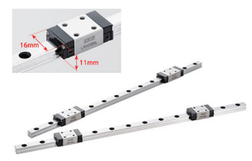
多軸コントローラ「ECMGシリーズ」との接続に対応し、ネットワーク対応時は電動アクチュエータ用のドライブユニットと合わせ、最大8ユニットまでの接続が可能。新オートチューニング機能を搭載し、搭載された負荷慣性に応じたゲイン調整を行うことで、立ち上げ時の調整時間を大幅に短縮する。

また、従来の専用プログラムを廃止してポイントテーブルによる動作を実現し、直感的な動作設定が行えるため、設定作業の工数削減が可能。設定ツール「S－Tools」を無償提供し、組み立てや検査、半導体後工程、実装、包装などの各種装置へ提案する。

### 日本トムソン　リニアガイドの最小サイズ「LRXD8SL」

## 高剛性と精度、耐食性を兼備

日本トムソン（IKO）は、高い剛性と精度、耐食性を備えた直動案内のリニアガイド「リニアローラウェイスーパーX」について、最小サイズの「LRXD8SL」を発売した＝写真。




リニアローラウェイスーパーXは、ローラを4条列に並列配置し、軌道面に45度の接触角を持たせた構造を採用したローラタイプの直動案内機器。多方向からの複合荷重を受けることができ、転動体がローラであるためボールと比較して負荷に対する弾性変形量が小さい。トラックレール、スライドユニット、ローラにはステンレス鋼を採用し、高剛性、高精度、高耐食性を実現している。

LRXD8SLは、幅16㎜、高さ11㎜の低断面を実現したシリーズ最小サイズ。従来の最小サイズと比べて断面高さを約15％削減し、大幅な小型化と軽量化を達成。剛性や精度を維持しつつ、設備の小型化や軽量化に貢献する。

スライドユニットの長さや封入グリースの種類、シールの有無などを複数の候補から選択でき、特殊品と比べて費用や納期を抑えながら、使用環境に応じた柔軟な仕様設定が可能。半導体製造装置や医療用設備をはじめ、さまざまな分野の生産機器や検査機器への採用を見込む。

記事内容が気になったら
そのまま Click&Go
掲載しているすべての記事・広告には、ソース元に飛べるURLを埋め込んでいます



Machine Evolution Partner
Speedy. Simple. Suitable for All.
Panasonic INDUSTRY　パナソニック インダストリー株式会社

Sansei
サンセイには答えがある。
株式会社サンセイテクノス
https://www.sanseitechnos.co.jp/

信州から高品質な製品をお届けします
TOGI 東洋技研株式会社

その配線、Anywire でラクにしませんか？
FA・BA に最適な省配線システムを現場目線から開発、提供し、省資源、省工数、予防保全で、稼働率向上に貢献します。
〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所１番地
コーポレートサイト https://www.anywire.jp/

ありがとう 80 FUKUNISHI 80th Anniversary
Fukunishi 福西電機株式会社
本社　大阪市北区与力町７番５号
コーポレートサイト https://www.fukunishi.com/

# FA業界掲示板

業界トピックス記事一覧はこちら→https://www.automation-news.jp/category/topics/

### ■三菱電機、「うんこドリル」とコラボ　「うんこドリル 工場のひみつ ファクトリーオートメーション編」発行

三菱電機は、「うんこドリル」（文響社）とコラボし、工場の自動化技術「FA（ファクトリーオートメーション）」の仕組みを子ども向けに解説する冊子「うんこドリル 工場のひみつ ファクトリーオートメーション編」を発行した。イベント会場や全国の小学校などを通じて配布する。

身近なスマートフォンを題材に、部品が作られる工場の内部を探検するストーリーを通じてクイズ形式でFAの基本を紹介。1000から1500個の部品構成や、1秒間に7000個の穴をあけるレーザ加工機など工場の仕組みを解説する。また、コントローラや表示器を「頭脳」、ロボットやサーボモータを「手」、モータを「足」にたとえて役割を説明し、装置同士が連携するネットワークの仕組みも取り上げる。

家電や自動車などの製造にFA技術が活用されていることを紹介し、ものづくりの面白さや関心を育むことを目指す。

### ■パナソニックHD、触覚に即応する両手作業ロボット操作AI「T-Rex」を共同開発

パナソニックHDは、パナソニックR&Dカンパニーオブアメリカや米カリフォルニア大学バークレー校、NVIDIAなどと共同で、指先の触覚に即応して器用な両手作業を行うロボット操作AI「T-Rex」を開発した。

視覚と言語情報から動作を生成するVLAモデルに指先の触覚情報を統合。視覚・言語モジュールが約5Hzで動作の大枠を生成し、触覚処理モジュールが約20Hzでリアルタイムに接触状態を捉えて動作を細かく補正。画像認識を毎回やり直すことなく、接触中の滑りや押し込み過ぎに素早く対応できる。

接触を伴う12種類の実環境タスクでの評価では平均成功率65%を達成し、従来手法の35%を大きく上回った。今後は製造現場での部品挿入やねじ締め、物流現場での柔軟物や壊れやすい物品の取り扱いなどへの展開を目指す。

### ■オプテックス・エフエー、検査用照明事業を分社化 新会社「FASTUS-Lighting」設立

オプテックス・エフエーは、グループ内における検査用照明事業とFA事業のセグメント分離を行い、子会社「FASTUS-Lighting」を設立した。今回の分社化により、経営資源投資をセグメント別に明確化し、それぞれの専門性を高め、意思決定の迅速化を図る。

新会社は京都市上京区に拠点を置き、代表取締役には杉田隆氏が就任。体制が整う2027年1月から検査用照明事業に関する販売やサポート、契約関係などの業務を新会社へ承継し、事業を開始する。

### ■ミスミ、次世代基幹システム「NEWTON」のグローバル展開を完了

ミスミグループ本社は、全面刷新を進めてきた次世代基幹システム「NEWTON」について、世界13カ国・地域の現地法人への導入を完了した。

同システムは、マイクロサービス構造を採用し、外部システムやAIと安全にAPI接続できる高い拡張性を備える。800社以上のサプライヤー在庫と生産キャパシティをリアルタイムで統合する「D-JIT」と連携し、従来数日から数週間を要していた複雑な大口注文の見積もりや調達を数分でオンライン完結できる。これにより顧客の待ち時間を大幅に削減するとともに、社内のシステム開発スピードを3倍に向上させ、開発コストを3分の1に圧縮した。

今後は、BOM（部品構成表）をアップロードするだけでAIが最適部品の選定から発注まで自動完結する「完全自動調達」の実現など、AI時代に対応した機能拡張を進める。

### ■明治電機工業、工場内物流DXと共創実証ラボの特設WEBサイトをリニューアル

明治電機工業は、工場内物流DXと共創型実証ラボを紹介する「ロディック・M-Lab特設サイト」をリニューアルした。

同サイトでは、生産管理と倉庫管理のデータ連携や工程間搬送の自動化を通じて最適な物流を実現するソリューション「LoDXC」を紹介。基幹システムの連携や頻繁なレイアウト変更、人手不足といった製造現場の課題に対し、要件定義から設計、導入、運用保守までワンストップで支援する体制を発信する。

併せて、実機検証を通じて課題解決を支援する共創型実証ラボ「Co-Creation M-Lab」の機能も掲載。同施設では、協働ロボットや自律走行搬送ロボット（AMR）による搬送自動化、複数メーカーが混在する機器の一括制御、OTセキュリティ対策などを常設展示し、現場環境を再現した手戻りのない事前検証の取り組みを案内している。

### ■佐鳥電機と萩原テクノソリューションズ、安川電機「MOTOMAN NEXT」の協業パートナーに

佐鳥電機と萩原テクノソリューションズは、安川電機が展開するAIロボット「MOTOMAN NEXT」の協業パートナーに参画した。

MOTOMAN NEXTは、従来の産業用ロボットの枠を超え、自律的な判断と柔軟な動作により、複雑な工程の自動化を実現する次世代ロボットプラットフォーム。佐鳥電機の持つロボットインテグレーション力と、萩原テクノソリューションズのエンジニアリング・ITソリューション力を融合させ、現場課題に応じた最適なソリューションの提供を目指す。

## M&A・提携

### ■サンワテクノス、調理・業務ロボットメーカーのTechMagicと資本業務提携

サンワテクノスは、調理・業務ロボットを手掛けるTechMagicと資本業務提携契約を締結した。新型ロボットの開発や量産化に向けた協業を進める。

食産業では人手不足や生産性向上が課題となっており、今回の提携を通じて、サンワテクノスが持つエンジニアリング力や部材調達力、品質管理の知見と、TechMagicのプロダクトデザイン力やロボティクス・AI開発力を融合し、食産業の課題を解決する新製品やサービスの共同開発と事業創出を目指す。

今後は新型ロボットの試作設計から海外量産まで協業体制を構築する。開発初期から部材調達や品質管理に関与して量産立ち上げ時の歩留まりリスクを低減するほか、海外15社40拠点のグローバルネットワークを生かして海外市場への供給体制を強化する。

### ■たけびし、福井三菱電機機器販売を子会社化「福井たけびし」へ商号変更

たけびしは、福井三菱電機機器販売の発行済株式を100%取得し、子会社化を完了した。これに伴い、同社の商号を「福井たけびし」に変更した。

福井たけびしは、福井県福井市に拠点を置き、FAシステムやビルファシリティ（ビル・冷熱）の販売事業、関連ソフトウエアの製作、販売、保守を展開している。

たけびしは、今回の株式取得を通じて地域に密着した販売・サポート体制を強化し、北陸エリアにおけるFA機器やビル設備関連の需要獲得とソリューション提案力の向上を目指す。

### ■東陽テクニカ、放射線測定装置メーカーのアロカを子会社化

東陽テクニカは、放射線測定装置の専門メーカーであるアロカの全株式を取得し、完全子会社化する。

アロカは官公庁や自治体、医療機関、研究機関を主要顧客とし、国内の放射線測定装置市場で高いシェアを持つ。原子力関連施設の安全管理や医療・核医学分野、防衛・国土安全保障での放射線検知など、中長期的な需要拡大が見込まれている。今後はグループのリソースを生かし、アロカ製品の海外展開を推進。さらに、放射線を用いた次世代のがん治療への貢献や、AIデータセンターの電力需要増を背景に期待される核融合発電施設向け新製品の開発を進める。

### ■進和、ITネットワーク構築のアイティアスリートと資本提携 現場DXを推進

進和は、ITネットワークシステムの設計・構築やセキュリティソリューションを手掛けるアイティアスリートの株式取得に関する株式譲渡契約を締結し、資本提携した。

アイティアスリートは、ITネットワークインフラの設計・構築からセキュリティソリューション、クラウドサービスの導入支援、ITコンサルティングに至る高度な専門性を有する。2025年7月期の売上高は4億5200万円。

進和は、長年培ってきた製造現場の知見やグループの顧客基盤に、アイティアスリートが持つ高度なITネットワーク技術、セキュリティ技術、品質管理ノウハウを融合し、製造現場におけるDXを牽引する体制の構築を目指す。

## 移転・オープン

### ■アドバンテック、米国カリフォルニア州に北米新本社を開設　北米市場でのエッジAI事業強化

アドバンテックは、北米市場におけるエッジAI事業の拡大に向け、米国カリフォルニア州タスティンに北米新本社を開設した。

新本社内には、カスタマイズシステムの構築やハードウエア・ソフトウエア統合、製品検証、出荷支援を一貫して提供する「システムインテグレーション＆サービスセンター」を新設。最新ソリューションを展示する「テクノロジーショールーム」も併設し、概念実証（PoC）から実運用への移行を支援する。

同社は北米で6000社超の顧客を持ち、新本社の開設により地域密着型の研究開発や製造、システムインテグレーション機能を強化する。医療機器や半導体製造装置、ロボティクスなど幅広い産業に向け、パートナー連携によるエッジAIの社会実装とDXを加速させる。

### ■山洋電気、栃木県宇都宮市の宇都宮支店を移転

山洋電気は、北関東エリアにおける営業とサービス体制の強化を目的に、宇都宮支店を移転する。移転時期は12月を予定する。新住所は、栃木県宇都宮市大通り2-1-5 明治安田生命宇都宮大通りビル。電話番号は028-639-1770。

## 決算・業績

### ■横河電機、27年3月期上期決算、売上高5.8%増の2982億円 測定器伸長で通期上方修正

横河電機は、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比5.8%増の2982億円、営業利益は同8.4%減の357億円、純利益は同21.5%減の230億円の増収減益となった。AIデータセンター関連の需要増に伴う測定器事業の伸長や為替影響等により増収となったものの、粗利率の悪化や販管費の増加が響き減益となった。

セグメント別では、主力の制御事業は国内外で堅調の小口案件を獲得し、売上高前年同期比4.3%増の2759億円、営業利益同17.3%減の298億円となった。うちマテリアルの受注が前年比287億円増となり、伸長分の約40%が半導体関連のPLC受注増が貢献した。測定器事業はAIデータセンター向けの旺盛な需要を取り込み、売上高同40.7%増の213億円、営業利益同105.9%増の61億円と大幅な増収増益を達成した。

通期連結業績予想は上方修正し、売上高は前期比4.0%増の6290億円、営業利益は同6.6%増の880億円、純利益は同4.1%増の605億円を見込む。

新製品やセミナーなど
お気軽に情報をお寄せください
宛先は info@automation-news.jp まで
お願いいたします

エッジコンピューティングはアドバンテック
自動車製造
半導体製造
交通分野
スマート工場
制御コントローラ
Edge Computer
画像検査
IoT エッジデバイス
HMI/タッチパネル
エッジAI
エッジサーバ
ADVANTECH
アドバンテック株式会社　https://www.advantech.co.jp
［東京本社］　TEL：03-6802-1021　FAX：03-6802-1022　［直方事業所］ TEL：0949-22-2811 FAX：0949-22-2836
［大阪支店］　TEL：06-6267-1887　FAX：06-6267-1886　［名古屋支店］TEL：052-291-4860　FAX：052-291-4861
Edge Computing & AI-Powered WISE Solutions

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社 カナデン

PHOENIX CONTACT
Empowering the All Electric Society

Magnetic sensor
MACOME
株式会社 マコメ研究所

この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world. for the future.
HOKUYO
https://www.hokuyo-aut.co.jp/

TAKAGI CONNECT
株式会社 タカギコネクト

# FA業界掲示板

業界トピックス記事一覧はこちら→https://www.automation-news.jp/category/topics/

## 決算・業績

### ■山洋電気、27年3月期上期決算、売上高30%増の660億円 AI・半導体好調で大幅増益

山洋電気は、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比30.0%増の660億円、営業利益は同84.7%増の90億円、純利益は同81.3%増の64億円の増収増益となった。通信装置やロボット、半導体製造装置などのFA分野や生成AI関連の需要が堅調に推移し、大幅な増収増益を達成した。

セグメント別では、冷却ファンを扱うサンエースカンパニーが、生成AIやデータセンター向け需要の大幅増や半導体製造装置向け伸長により、売上高前年同期比18.4%増の240億円、営業利益同46.8%増の56億円となった。サーボモータ等を展開するモーションカンパニーも、半導体製造装置やウエハ搬送ロボット向けが牽引し、売上高同43.0%増の251億円、営業利益同115.9%増の16億円と急伸した。

### ■ミスミグループ本社、27年3月期上期決算、売上高32.9%増の2736億円 通期上方修正

ミスミグループ本社は、2027年3月期中間期の決算を発表し、売上高は前年同期比32.9%増の2736億円、営業利益は同89.8%増の371億円、純利益は同78.9%増の250億円の増収増益となった。AI関連投資に伴うデータセンターや半導体関連向けの需要拡大を取り込み、売上高と営業利益は四半期および半期で過去最高を更新した。

セグメント別では、主力のFA事業がデータセンター関連需要やmeviyなどのデジタルモデル施策が牽引し、売上高は前年同期比50.2%増の1092億円、営業利益は同135.5%増の190億円と急伸。流通を担うVONA事業も欧州を除く全地域で二桁成長を達成し、売上高は同28.0%増の1158億円、営業利益は同71.2%増の125億円となった。

通期連結業績予想を上方修正し、売上高が前期比28.0%増の5650億円、営業利益が同63.8%増の780億円、純利益が同29.5%増の524億円を見込む。

### ■因幡電機産業、27年3月期上期決算、売上高19.3%増の2294億円 半導体好調で上方修正

因幡電機産業は、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比19.3%増の2294億円、営業利益は同42.6%増の200億円、純利益は同35.0%増の143億円の増収増益となった。企業の設備投資需要などを背景に全セグメントで需要が増加し、安定供給を維持したことで中間期として過去最高業績を更新した。




セグメント別では、産業機器事業が省力化・自動化需要に伴う制御機器や電子部品の増加に加え、AI関連需要を捉えた半導体製造装置向け販売が伸長し、売上高は前年同期比39.4%増の261億円と大幅に伸長。電設資材事業もデータセンターや工場向け大型案件が好調で売上高は同12.2%増の1465億円となった。自社製品事業はエアコン需要増に伴い空調配管部材の販売が伸び、売上高は同32.2%増の567億円となった。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比12.7%増の4700億円、営業利益が同24.5%増の370億円、純利益が同15.3%増の270億円を見込む。

### ■RYODEN、27年3月期上期決算、売上高21.5%増の1240億円 FA好調で大幅増益

RYODENは、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比21.5%増の1240億円、営業利益は同84.9%増の45億円、純利益は同44.9%増の31億円の増収増益となった。人件費や戦略投資の増加があったものの、FAシステムの需要回復やデータセンター向け需要の急増が寄与し大幅な増益を達成した。

セグメント別では、FAシステムが半導体製造装置向けの案件増加やM&Aによる商圏拡大、配電盤向け大型案件の進捗により、売上高前年同期比41.3%増の334億円、営業利益同240.5%増の17億円と急伸。エレクトロニクスもデータセンター向けや欧米での車載向けが牽引し、売上高同18.5%増の674億円、営業利益同57.1%増の25億円となった。冷熱ビルシステムも空調製品等の需要増を取り込み増収増益となった。

### ■カナデン、27年3月期上期決算、売上高12.6%増の694億円 FA好調で通期上方修正

カナデンは、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比12.6%増の694億円、営業利益は同21.6%増の20億円、純利益は同22.9%増の14億円の増収増益となった。生成AIやデータセンター需要の拡大を背景に企業の設備投資が活発化し、各事業で需要を着実に取り込んだ。

セグメント別では、FAシステム事業が半導体製造装置や受配電盤向けFA機器、データセンター向け配電制御機器の伸長により、売上高は前年同期比18.2%増の334億円、営業利益は前期の高付加価値案件剥落の影響で同12.5%減の7億円となった。半導体・デバイス事業は家電向けモジュールや産業機器向けパワーデバイスの回復により、売上高同12.6%増の111億円、営業利益同34.4%増の11億円と好調だった。ビル設備事業も電源設備の伸長で増収となった。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比9.9%増の1600億円、営業利益が同21.9%増の65億円、純利益が同10.9%増の44億円を見込む。

### ■サンワテクノス、27年3月期上期決算、売上高28.3%増の889億円 半導体好調で上方修正

サンワテクノスは、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比28.3%増の889億円、営業利益は同119.2%増の32億円、純利益は同83.7%増の22億円の増収増益となった。AI関連需要の拡大を背景に半導体製造装置業界をはじめとする設備投資が活発化し、大幅な増収増益を達成した。

部門別では、電子コンポーネント部門が半導体製造装置業界やFA業界向けの電子部品販売の増加により、売上高前年同期比23.4%増の521億円。制御デバイス部門もサーボモータや制御盤が好調で売上高同18.7%増の194億円、FAソリューション部門は検査装置や蓄電池システムの伸長により売上高同72.5%増の114億円と急伸した。地域別では国内およびアジアにおいて半導体関連の販売が拡大し業績を牽引した。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比28.1%増の1900億円、営業利益が同88.2%増の76億円、純利益が同68.4%増の55億円を見込む。

### ■たけびし、27年3月期上期決算、売上高21.6%増の635億円 半導体好調で通期上方修正

たけびしは、2027年3月期中間期の決算を発表し、売上高は前年同期比21.6%増の635億円、営業利益は同62.0%増の32億円、純利益は同49.3%増の22億円の増収増益となった。AI・データセンター向けを中心とした半導体関連分野の旺盛な需要を捉え、大幅な増収増益を達成。

セグメント別では、主力のFA・デバイス事業が半導体製造装置向けFA機器や産業用PC、電源機器の伸長により、売上高は前年同期比22.0%増の460億円、営業利益は同71.6%増の24億円と業績を牽引。海外もインドや東南アジア向け電子部品が堅調だった。社会・情報通信事業も医療用機器や空調機器の更新需要が増加し、売上高は同20.4%増の174億円、営業利益は同36.6%増の7億円となった。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比15.6%増の1270億円、営業利益が同29.8%増の53億円、純利益が同22.4%増の36億円を見込む。

### ■明治電機工業、27年3月期上期決算、売上高12.4%減の321億円 自動車向け低調で減益

明治電機工業は、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比12.4%減の321億円、営業利益は同40.0%減の9億円、純利益は同35.2%減の8億円の減収減益となった。主要顧客である自動車業界における設備投資計画の見直しなどが響き、売上高と各利益ともに前年同期を下回った。

主要ユーザーである自動車関連企業において、電動化の進展ペースに変化が生じるなか、通商政策や海外需要動向を見極める姿勢が続き、開発や設備投資計画の見直し・精査が行われたことで需要が低調に推移。また一部商品の調達期間長期化による売上計上時期の遅れが影響した。

通期の連結業績予想は従来予想を修正し、売上高が前期比0.8%増の770億円、営業利益が同3.8%減の35億円、純利益が同4.0%減の27億円を見込む。

### ■八洲電機、27年3月期上期決算、売上高20.9%増の347億円 設備投資堅調で上方修正

八洲電機は、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比20.9%増の347億円、営業利益は同48.8%増の27億円、純利益は同57.0%増の19億円の増収増益となった。AI需要拡大に伴う半導体製造装置関連の好調や企業の省力化投資を背景に、大幅な増収増益を達成した。

セグメント別では、公共・設備事業がデータセンター向け特殊空調や変圧器の納入、受変電設備の更新工事が好調に推移し、売上高は前年同期比26.7%増の162億円、営業利益は同78.5%増の19億円と大きく伸長。交通事業も鉄道の安全・安定性向上に向けた車両改造や機器更新が進み、売上高は同79.6%増の62億円、営業利益は3億円となった。一方、プラント事業は前期大型案件の反動減等により、売上高は同1.4%減の122億円、営業利益は同6.3%減の20億円となった。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比10.0%増の820億円、営業利益が同22.1%増の89億円、純利益が同18.5%増の61億円を見込む。

### ■スズデン、27年3月期上期決算、売上高54.1%増の325億円 半導体好調で上方修正

スズデンは、2027年3月期第2四半期（中間期）の決算を発表し、売上高は前年同期比54.1%増の325億円、営業利益は同153.9%増の22億円、純利益は同112.9%増の15億円の増収増益となった。生成AI普及に伴う半導体やデータセンター関連投資の拡大を背景に、電気機器や産業機械向け需要が好調に推移し大幅な増益を達成した。

商品分野別では、主力のFA機器分野が制御機器やRFIDの伸長により、売上高は前年同期比64.7%増の186億円と大きく拡大。電子・デバイス機器分野もコネクター類などの増加により同55.9%増の41億円、電設資材分野も端子台などの増加で同38.9%増の67億円となった。情報・通信機器分野も産業用パソコンやネットワーク機器が好調で同38.0%増の28億円となった。

修正後の通期連結業績予想は、売上高が前期比52.5%増の700億円、営業利益が同130.7%増の48億円、純利益が同85.2%増の32億円を見込む。

### ■MonotaRO、26年12月期3Q決算、売上高19%増の2872億円 制御機器好調で増益

MonotaROは、2026年12月期第3四半期の決算を発表し、売上高は前年同期比19.0%増の2872億円、営業利益は同23.8%増の411億円、純利益は同18.9%増の279億円の増収増益となった。仕入価格上昇に伴う価格転嫁による利益率改善やPB比率の上昇に加え、制御機器需要が想定を上回り業績を押し上げた。

事業別では、MonotaRO.com事業が顧客リテンションの維持や単価上昇を背景とした制御機器の需要増などにより、売上高は前年同期比17.3%増の1825億円となった。大企業向けのエンタープライズ事業も、大規模未利用拠点の開拓が計画を上回って進捗し、売上高は同23.0%増の954億円と好調に推移した。

Open&Free
オートメーション新聞PDF電子版は
年間購読料は無料
印刷やメール、アップロードなど
社内共有もOK
皆さまでぜひご活用ください
無料購読のお申込み・お問い合わせは
この広告をクリック



電気設計から製造までデータがつながる
EPLAN
Efficient Engineering is when a PLAN becomes EPLAN.

盤製造の世界を変えるシステムプラットフォーム
RITTAL

TURCK
Your Global Automation Partner

CONTEC
e-shop 製品ラインアップ1,300点 工場の"今欲しい"が見つかる

HMS Hardware Meets Software™

# 工場新設・増設、設備投資情報

工場・設備投資記事一覧はこちら→https://www.automation-news.jp/category/factory/

## 北海道・東北

### ■日本化学工業、福島県郡山市の福島第一工場でチタン酸バリウムの生産能力を増強

日本化学工業は、福島第一工場（福島県郡山市）で、チタン酸バリウムの生産設備を増強する。稼働開始は2027年度の予定。

生成AIの普及に伴うAIデータセンター市場の拡大を背景に高性能MLCCの需要が世界的に増加しており、チタン酸バリウムは、積層セラミックコンデンサ（MLCC）の誘電体として需要が拡大している。今回の能力増強により、原料の高純度炭酸バリウムも含めた同社の電子セラミック材料におけるAIサーバー向け需要への対応力は、現行比で約1.5倍に拡大する見込みである。

### ■Jパワー、北海道上ノ国町でデータセンター建設・運用

電源開発（Jパワー）は、北海道上ノ国町において、最新鋭のGPUを搭載したデータセンター「上ノ国データセンター（仮称）」を自社で建設、運用することを決定した。高度な計算力を自社ブランドで顧客へ販売し、2027年夏のサービス開始を予定している。



事業では、同社が出資するモルゲンロットのジョブ管理技術や消費電力量の可視化技術を活用し、サーバーの高稼働と環境負荷の低減、コストパフォーマンスを両立させる。主な設備は40ftコンテナ、GPU搭載サーバー、冷却設備など。最新鋭のGPUとしてNVIDIA HGX B300やNVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Editionを採用する。設計、調達、建設（EPC）はミライト・ワンが担う。

### ■大川電機製作所、福島県福島市に新工場「大笹生工場」を建設

アルコニックスグループの大川電機製作所は、福島県福島市に3拠点目となる「大笹生工場」を新設する。

新工場は、主力事業である航空宇宙ならびに半導体製造装置向けなどの精密金属加工部品の生産能力を現状の2倍以上に引き上げるのが目的。敷地面積は3万4011㎡で、土地取得費を含む投資額は約75億円。2028年度下期の操業開始を予定する。

Fukunishi
人·技術·情報の
架け橋となり、
最適解で「福（しあわせ）」あふれる
未来をつくる。
福西電機株式会社

## 関東・甲信越

### ■オキサイド、山梨県北杜市の第６工場で光トランシーバ向けファラデー回転子の生産増強

オキサイドは、第6工場（山梨県北杜市）で、光トランシーバ向けのファラデー回転子の生産能力増強を目的とした設備投資を実施する。

生成AIの普及拡大に伴いデータセンター内・データセンター間の高速・大容量通信を実現する光トランシーバの需要が急速に拡大しており、その安定動作に必要なファラデー回転子の需要も増加している。ファラデー回転子は光トランシーバーに搭載される光アイソレータの中核部品であり、レーザ光源や光回路を反射光から保護する役割を担う。

投資予定額は14億5500万円。稼働開始時期は2027年2月期下半期中を予定する。

### ■ADEKA、千葉県袖ケ浦市の千葉工場で先端フォトレジスト向け光酸発生剤の製造設備を増強

ADEKAは、千葉工場（千葉県袖ケ浦市）において、極端紫外線（EUV）をはじめとする半導体の先端リソグラフィ工程で使用される半導体レジスト用光酸発生剤の製造設備を増強する。既存建屋内に製造ラインを増設し、供給能力を従来比で約2倍に引き上げる。

今回の追加投資は、需要が続くEUVリソグラフィ向け光酸発生剤の供給能力を高め、厳格な品質管理を維持しながら生産体制の最適化を図る。投資金額は約10億円。2027年1月に着工し、28年2月の完工、同年9月の営業運転開始を予定する。

### ■京和、千葉県木更津市のかずさアカデミアパークに造形物製作・研究拠点を立地

テーマパークや商業施設向けに各種造形物のデザイン・制作を行う京和は、千葉県木更津市のかずさアカデミアパーク（研究5区画）に造形物の製作や素材研究を行う新たな拠点を新設する。

新拠点の敷地面積は約3万7000㎡。施設内には生産施設と研究施設を整備し、延床面積は約3800㎡となる。投資額は約24億円。3Dプリンターを活用した造形物の製作をはじめ、不燃造形素材の開発・改良を進める。

## 東海・北陸

### ■スズキ、静岡県浜松市に本社新事務所棟を建設

スズキは、本社敷地内（静岡県浜松市中央区）に新たな事務所棟を建設する。建物の構造は鉄骨造（免震構造）の地上7階建てで、延床面積は約41000㎡、高さは約31.6m。フロア構成は1階にエントランスや食堂、2階にホールや会議室、3階から7階に執務エリアを配置する。免震構造を採用し大規模災害発生時における事業継続計画（BCP）の中核拠点としての機能を備えるほか、高効率設備の導入や省エネルギー化を推進して環境負荷の低減を図る。

2026年末に着工し、29年の竣工と稼働開始を予定している。

### ■デンコーテクノヒート、三重県鈴鹿市に鈴鹿工場を移転新設

電気興業の子会社であるデンコーテクノヒートは、三重県鈴鹿市国府町に鈴鹿工場を移転新設する。現工場の老朽化やスペースの制約といった課題を解決し、事業構造改革のモデルケースとして推進する。

新工場の敷地面積は約4684㎡で、現工場の約2.4倍。鉄骨造の地上2階建て。2027年3月に建設を完了し、28年1月に全設備の移設完了を予定する。

新工場では入荷と出荷のエリアを分離して効率的な生産導線を採用するほか、熱処理設備へのロボット導入により自動化を推進する。これにより生産能力を現工場比で30%向上させる。環境面では屋根に発電容量約244kWの自家消費型太陽光発電設備を設置し$CO_2$排出量を削減する。海抜約42mの高台へ移転することで津波浸水リスクを低減しBCPを強化する。

## 九州・沖縄

### ■三菱ケミカル、福岡県北九州市に最先端半導体向け超高純度コロイダルシリカの生産設備を新設

三菱ケミカルは、九州事業所・福岡地区（福岡県北九州市）において、最先端半導体向け研磨剤の原料として使用される超高純度コロイダルシリカの事業化を決定した。生産設備を新設し、2028年10月に営業運転を開始する予定。

コロイダルシリカは、シリコンウエハの研磨スラリー向け原料やシリコンウエハ配線層のCMPスラリー向け原料として使用される。同社の超高純度コロイダルシリカは、テトラメトキシシランから一貫生産することで不純物の含有を抑え、顧客ニーズに合わせて粒子サイズや密度などをカスタマイズできる特徴を持つ。

### ■八十島プロシード、大分県国東市に半導体樹脂製品部品製造の新工場を建設

八十島プロシードは、大分県国東市にある九州工場の敷地内に、主に半導体の樹脂製品部品を製造する新たな工場を建設する。2028年5月に操業開始を予定している。

同社は高機能プラスチックを使用した切削加工品や高機能プラスチック素材の販売を手掛けるほか、3Dプリンタによる出力サービスをはじめ、3D技術を活用した各種ソリューションを提供している。九州工場では、半導体や液晶、食品機械、化学、一般機械向けの高機能樹脂部品の製造を行っている。

### ■富士フイルム、大分県大分市にポストCMPクリーナー製造用の新棟を建設

富士フイルムは、半導体材料事業の中核会社である富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズの大分工場内（大分県大分市）にポストCMPクリーナー製造用の新棟を建設し、稼働を開始した。

ポストCMPクリーナーは、半導体表面を均一に平坦化する研磨工程の後に金属表面を保護しながら洗浄する材料で、先端半導体の需要急増に伴い需要が増加している。

新棟は鉄骨造の地上4階建てで、延床面積は約3600㎡。投資金額は約70億円。新棟には極めて高い純度が求められる最先端半導体材料に対応した自動生産設備や品質評価機器を導入し、製造能力を従来の3倍に拡大。また、屋根に太陽光発電パネルを設置して再生可能エネルギーへの切り替えを進め、温室効果ガスの削減にも取り組む。

## 海外

### ■トクヤマ、ベトナムのホーチミン市で半導体用多結晶シリコン新工場を建設

トクヤマは、ベトナムのホーチミン市フーミー3特別工業団地内にある100%出資子会社TOKUYAMA VIETNAMにおいて、半導体用多結晶シリコン新工場を建設した。

TOKUYAMA VIETNAMは2024年8月8日に設立されたベトナム初となる半導体用多結晶シリコンの製造・販売拠点。半導体市場のさらなる拡大が見込まれる中、先端半導体に用いられるシリコンウエハ原料の安定供給とサプライチェーンの強靭化を目指し、多結晶シリコンの破砕・洗浄などを担う重要な海外拠点となる。日本国内拠点などと連携した安定供給体制を強化し、ベトナムにおける半導体産業基盤の発展にも貢献していく。




### ■三井金属鉱業、マレーシアに高周波基板用電解銅箔と極薄銅箔の新拠点を設立

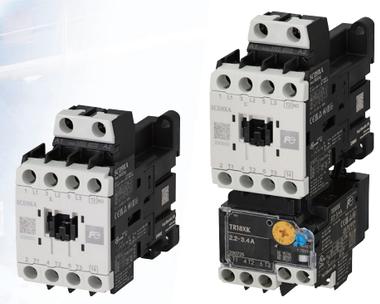
三井金属鉱業は、2031年以降にマレーシア工場近傍に高周波基板用電解銅箔VSPとキャリア付極薄銅箔MicroThin製造の新拠点を設立する。

VSPは高周波数帯におけるプリント基板の伝送損失低減に大きく寄与することから、サーバやルータ、スイッチなどの高性能通信インフラ機器に採用されている。

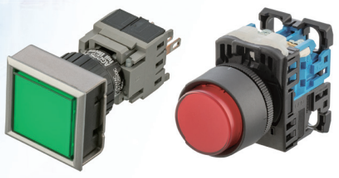
新拠点はVSP箔で月産1200㌧、MicroThin箔で月産400万㎡の生産能力を持ち、既存の生産能力と合わせてVSP箔を月産2600㌧、MicroThin箔を月産1200万㎡とする計画。VSP箔に関しては、今後の市場拡大に応じて月産5000㌧までの生産能力体制の構築も視野に入れる。

94
オートメーション新聞
PDF電子版・WEB
各種広告 募集中
67
紙面・WEBともに
サイズ・回数など柔軟に対応可能です
詳細・お問い合わせはこちらをクリック

支え続けてきた技術が、工場の未来を創る。
古い図面にも、
これからの設計にも。


電磁接触器・電磁開閉器


配線用遮断器・漏電遮断器


操作表示機器


真空遮断器


エネルギー管理機器

富士電機機器制御株式会社
〒369-0192 埼玉県鴻巣市南1-5-45　TEL 048-548-1111(代表)

17機種16万形式から、仕様で選べる。
— 製品選定ツール PRODUCT SELECTOR —
https://selector-fa.fujielectric.co.jp/products/